



2020年度夏季手当 および 新型コロナ特別手当 を求める 「職場の声」を紹介します！①

2019年度末は車内防犯カメラの取付工事やタブレット中継装置取付工事など、オリパラを意識した車両改造工事で特に多忙であった。相当な努力をしたことに応えてほしい

配偶者の休業で世帯収入が減る中、子の休校で光熱費は上がっている。食費も、安価な給食にはかなわない。安心して生活できるよう手当してほしい

汚物の付着した座席の交換作業があるが、コロナ感染の恐怖を感じた。命のリスクに対してしっかりと手当で応えてほしい

夫婦ともに休業できない業種。しかし保育園は休業しているため、子育てとの両立が大変だった

JRひがし号外「2019年度決算の概要」がフルカラー印刷の紙で配布された。減収減益というならペーパーレスにして、印刷代と発送代を給料に少しでも還元してほしい

景気が良い時も支給額は突出することなく抑えられてきたので、大変な今こそ支給額を下げないでほしい

経営状況が厳しいことは理解する。しかし、テレワークが始まりoffice365の使い方を多くの社員が学んだことで、結果的に「変革2027」の目指す姿に近づいた。その努力を汲んでほしい

会社支給のマスクを消費しないようにと、できるだけ自分で買ったマスクで勤務していた。インフラ企業の社員として感染せずにこられたのは、家族を含めて感染防止策に努めてきたから。家族を含めた努力にしっかりと応えてほしい

学資ローンを組んでおり、支給額が下がると生活が苦しい

お客さまが減っても、工臨などの特に注意が必要な入換業務は変わらずに行われる。減収でも安全作業の重要性と責任は変わらない

コロナ禍でも鉄道業を滞ることなく運営できているのは社員が凡事徹底した努力の証です

「変革2027」では「社員・家族の幸福」を打ち出している。それを実感できるようにしてほしい



「職場の声」が大きな力となります！
「職場の声」を結集し、満額獲得を実現しよう！

